

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公表番号】特表2008-533509(P2008-533509A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-556150(P2007-556150)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 B 26/08 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 3 B 21/00 Z

G 0 2 B 26/08 E

G 0 2 B 26/10 C

H 0 4 N 5/74 H

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

様々な像平面に二次元画像を投射する装置であって、

該装置は、

窓(60)を有するハウジング(10)と、

該ハウジング(10)内の画像投射モジュール(20)であって、該画像投射モジュール(20)は、該窓(60)を介して走査線のパターンを掃引し、各走査線は、複数の画素を有し、該画像投射モジュール(20)は、選択された画素を照明し、見えるようにして、各画像を生成する、画像投射モジュール(20)と、

該ハウジング(10)に旋回可能に取り付けられた可動パネル(12)であって、該可動パネル(12)は、複数の第1のディスプレイ位置および第2のディスプレイ位置間を旋回移動し、該複数の第1のディスプレイ位置の各々において、第1の二次元画像は、該パネル(12)の第1のディスプレイ表面に投射され、該第2のディスプレイ位置において、第2の二次元画像は、該ハウジング(10)から遠くにある第2のディスプレイ表面に投射され、該パネル(12)はまた、該第2のディスプレイ位置において、傾斜した状態で該ハウジング(10)を支持するように作用する、可動パネル(12)と

を備える、装置。